

無収縮モルタル フィルコンR

無収縮モルタル フィルコンRの特長

- ▶ 流動性に優れ、複雑な形状の空隙も隅々まで充填することができます。
- ▶ 1～数日で実用強度を発現する無収縮モルタルです。
- ▶ 材齢1週以降も安定して強度増進し、構造的に十分な高強度が得られます。
- ▶ プリーディング・沈下がないため、充填後空隙を残さず、確実な荷重伝達を期待することができます。
- ▶ 砂を既調合したプレミックスタイプと砂を含まないセメントタイプをご用意しており、コスト・施工に応じた多彩な配合設計が可能です。

フィルコンRの施工要領概要

前準備

- ▶ 混練水：酸・油・有機不純物等を含まない清水。
- ▶ 混練機：ハンドミキサー・グラウトミキサー等の高速回転型をご用意下さい。手練りによる混練はできませんのでご注意ください。
アルミ製の羽根、容器は決して使用しないでください。
- ▶ その他：必要に応じ、モルタルポンプ・計量器・バケツ・コテ等。
- ▶ 清掃：打設箇所表面のレイタンス・油分・塵芥等を除去し、必要に応じてチッピング・プライマ処理等を行ってください。
- ▶ 打ち水：清掃後の打設箇所表面には十分な散水を行い、湿潤状態を保って打設してください。余剰水は拭き取ってください。

施工

- ▶ 混練：混練は右図に従い、充分な攪拌を行ってください。
- ▶ 注入：注入条件によって自重圧・ポンプ注入等選択します。注入は打設箇所全体で計画レベルを確保できるよう連続的に行います。また、パイプレータ等による振動締固めは不適切です。
- ▶ 仕上げ：一般的には木ゴテ・金ゴテ仕上げを行います。
- ▶ 養生：表面を濡れた布等で被い、2～3日間は湿潤状態を保って初期の乾燥を防いでください。寒中施工では保温養生等により初期凍害を防止してください。

保管

- ▶ 開封後：開封後は密閉して保管できますが、袋単位で使い切るようにしてください。
- ▶ 積置き：屋内保管を原則とし、降雨・湿気等からなるべく遮断してください。



荷姿は製造の都合等により予告なく変更する場合がありますので、予めご了承ください。

プレミックスタイプ (砂は調合済) の配合例

配合	水材料比 (%)	単体量 (kg)		練上り量 (ℓ)
		フィルコンR プレミックスタイプ	水	
示方	16.4～19.2	1875(75袋)	307.5～360	1000
袋		25(1袋)	4.1～4.8	約13.5

注) 水量は気温・材料温度・水温等により若干変動します。使用前に試験練りを行い確認のうえで水量を決定してください。

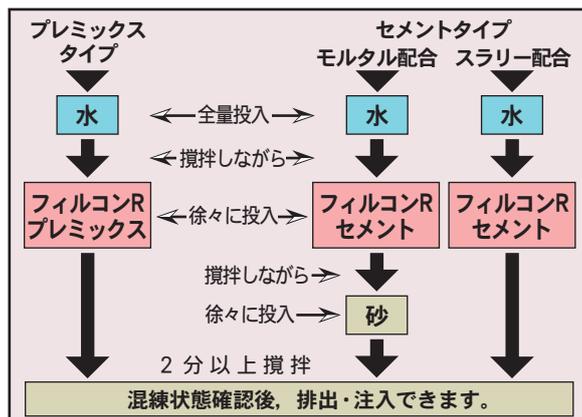
セメントタイプの配合例

配合	水材料比 (%)	単体量 (kg)			練上り量 (ℓ)
		フィルコンR セメントタイプ	砂	水	
示方	36.0	1440(72袋)	0	518	約1000
袋		20(1袋)	0	7.2	約14
示方	18.0	938(47袋)	938	338	約1000
袋		20(1袋)	20	7.2	約21

注1) 気温等により水量は多少変動(6.8～7.4kg/袋程度)します。また、モルタル配合では使用する砂の粒度や含水状態、気温等の条件によって水量は変動します。使用前には必要に応じて試験練りを行い、水量・流動性・強度等を確認してください。

注2) モルタル配合の砂は別途調達してください。

混練手順



混練状況



フィルコンRの性能一例

準拠した規格等

規格等：日本工業規格 (JIS)
 : 日本道路公団規格 (JHS)
 : 土木学会基準 (JSCE)
 : 首都高速道路公団, 土木材料共通仕様書
 : 阪神高速道路公団, 土木補修工事共通仕様書
 : 公共建築協会・評価基準

流動性

試験：J14ロート
 管理値：練上り直後において8±2秒
 測定値：右グラフを参照 →

ブリーディング

管理値：練上り2時間後において2%以下
 測定値：練上り2時間後およびこれ以降もブリーディングは発生しません。

膨張収縮

管理値：材齢7日で収縮を示してはならない。
 測定値：材齢7日において膨張側にあり、収縮は認められない。

凝結

管理値：始発1時間以上・終結10時間以内
 測定値：始発約4~6時間・終結7~9時間程度

圧縮強度

管理値：材齢3日で25N/mm²以上
 材齢28日で50N/mm²以上
 測定値：右グラフを参照 →

付着強度

試験：普通丸鋼φ19の引き抜き試験
 管理値：材齢28日で3N/mm²以上
 測定値：3.5N/mm²程度

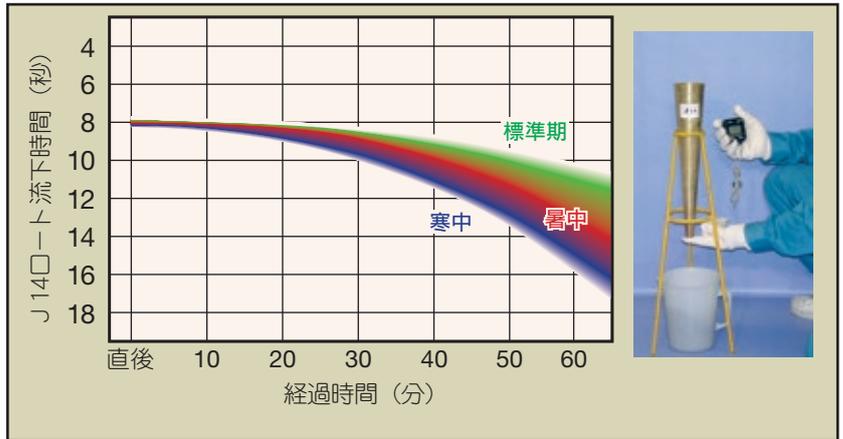
※物性値の詳細については、当社試験成績表等をご参照ください。

取り扱い上の注意

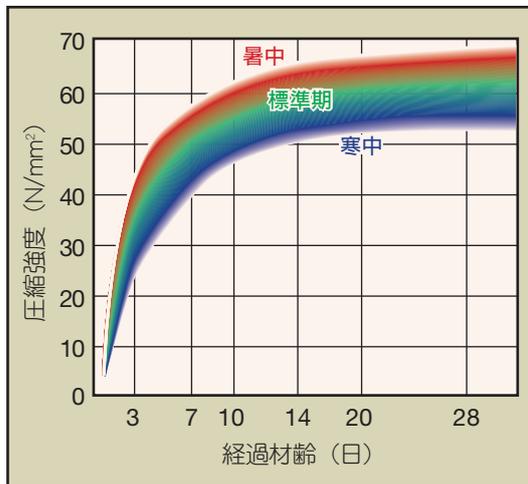
- 本製品は強いアルカリ性を呈し、目、鼻、皮膚等を刺激したり、粘膜に炎症を起こすことがあります。
- 作業時には、保護手袋、防塵マスク、防塵眼鏡等を必ず着用してください。
- 目に入った場合は、きれいな水で十分に洗眼し、直ちに専門医の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合は、きれいな水で十分に洗い流してください。

プレミックスタイプの試験例

流動性の測定例



圧縮強度の測定例



橋梁沓座モルタル

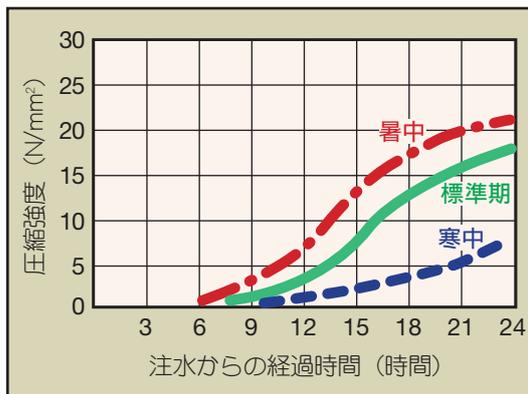


橋脚耐震補強工事



逆打ちモルタル工事

材齢24時間以内の圧縮強度発現



(社)公共建築協会 評価書

使用および取扱いの前に、当製品の安全データシート(SDS)をお読みください。
 本カタログの記載内容については、予告無しに変更する場合がありますので、予め御了承願います。

住友大阪セメント株式会社 建材事業部

東京 〒105-8641 東京都港区東新橋1-9-2 (汐留住友ビル20F)
 大阪 〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-4(アクア堂島東館15F)
 名古屋 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南2-14-19(住友生命名古屋ビル3F)
 札幌支店 〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-10-2(札幌HSビル10F)
 東北支店 〒980-6003 仙台市青葉区中央4-6-1(SS30 3F)
 北陸支店 〒920-0849 金沢市堀川新町2-1(井門金沢ビル7F)
 四国支店 〒760-0033 高松市丸の内4-4(四国通商ビル6F)
 広島支店 〒732-0827 広島市南区稲荷町4-1(広島稲荷町NKビル7F)
 福岡支店 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-2-5(紙与博多ビル8F)

電話 03(6370)2721 Fax 03(6370)2759
 電話 06(6342)7704 Fax 06(6342)7708
 電話 052(566)3202 Fax 052(566)3273
 電話 011(241)3901 Fax 011(221)1017
 電話 022(225)5251 Fax 022(266)2516
 電話 076(223)1505 Fax 076(223)0193
 電話 087(851)6330 Fax 087(822)6870
 電話 082(577)7645 Fax 082(577)7646
 電話 092(481)0186 Fax 092(471)0530

本製品に関するお問い合わせ・ご用命は